

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
株式会社 藤村農園	正職員2人 パート15人	山口県山口市	事業継承を見据えた法人の設立	専門家派遣回数 7回

相談内容・現状課題

■相談内容

相談者は、大規模露地野菜経営を展開しており、地区のキャベツ部会副部長を務めるなど、人・農地プランの中心経営体としても重要な位置付けにある。

今後、母親名義の経営を継承、規模拡大とともに法人化し、新たな雇用も行ってほしいので、常時雇用者の確保に向けた就業規則の制定や労務管理(社会保険・労働保険等の加入)について支援を受けたいとの相談があった。

■現状課題等

- ・現状の労働力では経営規模的に限界が近いので、規模拡大に向けた常時雇用者(オペレーター)の確保が必要。
- ・優良な人材を確保するため、適正な休日等の労務環境の改善を図るとともに賃金、労働条件等を明示できる就業規則、賃金規定等の作成が必要。
- ・法人化による円滑な経営の継承と雇用型経営への転換が必要。

相談所の支援体勢・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援内容

社会保険労務士、中小企業診断士及び司法書士を含む伴走支援チームを編成し、以下の支援を支援を行った。

1. 就業規則等の作成支援(社会保険労務士)
常時雇用者の導入に向けた就業規則、賃金規程、退職金規程等の作成を支援。
2. 法人化を見据えた経営診断・経営計画作成支援(中小企業診断士)
常時雇用者の導入等を検討する中で、今後の経営ビジョンや経営計画の必要性を説明し、法人化を見据えた経営診断、経営計画の作成支援を実施(法人設立目標をR2. 4月に設定、5年間の経営計画作成を支援)。
3. 法人設立支援(司法書士)
法人形態の説明、定款作成等を支援。



専門家による指導風景

常時雇用者の確保には株式会社形態が有効である旨を説明、納得を得ながら支援を進めた。

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

目標設定どおりR2. 4月に株式会社藤村農園を設立し、併せて常時雇用者の確保もできた。R2年度には2人目の常時雇用者の採用を予定しており、人手不足の中、法人化により人材確保面で好影響が出ている。

今後は、作成した経営計画に沿った経営が実現できるよう引き続き関係機関が連携してフォローアップを行っていく。



藤村農園の皆さん

■コーディネーター所感

当初、法人の設立については、相談者は関心を示す程度であったが、それぞれの専門家の指導・助言によって、最終的には事業継承を見据えた法人設立と雇用の確保を実現することができた。

伴走支援を行いながら、新たな経営課題等を洗い出すことができ、課題解決に向けて支援チームの体制の拡充を行うなど相談者のニーズに沿った適切な対応ができた。